

花壇の花を植え替えました

【日 時】令和4年6月7日（火）・8日（水）9：00～11：00

【場 所】三本榎史跡公園（学園1-2-3）

【参加ボランティア数】2人

昨年秋に、それまで中木が生い茂っていた花壇に手を入れ、パンジーなどの花が咲く空間に生まれ変わった三本榎史跡公園では、ベンチでひと休みしながら花を眺める人の姿がよく見受けられるようになりました。



その花も、夏が近づくとつれてしおれ始めたので、植え替えることにしました。まだ咲いている花もあるのでもったいない気もしますが、なかには花びらに変色していたり枯れたりしているものも。荒廃した感じになる前に植え替えた方がいいということで、まずは今ある花を抜くことにしました。



手前の白い花は夏も花を咲かせるので、それ以外を抜いていきます。地中には春先に花を咲かせたチューリップの球根が残っており、うまくいけば来年も花を咲かせてくれるとのこと。球根を傷つけないよう丁寧に作業していきます。



よく見ると、ぷっくりした実のようなものがついています。ボランティアさんによるとこれは種で、緑色がやがて茶色に変わり、パンッと弾けて種を落とすのだそうです。



探してみると、ありました。茶色くなって今にも弾けそうな種が。そして、足元には小さな芽が顔を出していました。





枯れた株を 30 本ほど抜き、花の苗を植える十分なスペースを確保。この日は土を耕し、肥料を撒いて作業を終えました。

翌日は、朝 9 時から花植えの作業がスタートしました。注文しておいたカラフルな苗を公園に運びます。ラベンダーの苗は、ボランティアさんが用意してくれました。



配置を決めたら、さっそく植えていきます。今回は存在感のあるマリーゴールドを中心に植えることにしました。



感染予防に留意したうえでマスクを外して撮影しています

昨日に引き続き参加してくれた2人のボランティアさんは、園芸に造詣が深く、武蔵村山観光まちづくり協会が認定する「武蔵村山の魅力マイスター」(園芸)に就任しています。この日は、2人にスポットを当てた観光まちづくり協会のポスター撮影も行われました。



感染予防に留意したうえでマスクを外して撮影しています

撮影や取材を受けながらも着々と作業が進み、作業開始から2時間ほどで新しい花壇が完成。背の高い花、低い花が混在し、カラフルで立体的な花壇になりました。いままでとは趣の異なる風景が楽しめそうです。

